

売り場担当をやってみて思ったこと

伊香保大会実行委員 売り場担当 峯岸 昌弘

●売り場での「イベント」について

これは、思いつきではじめた「売り場を盛り上げる実験」でしたが、これから重要になると強く思いました。これを実施するだけで、「売りに雲泥の差が出る」ことは、実験的に明らかになりました。

まず、自分たちで企画して、どんどん盛り上げてくれた「はずる」さん。ちょっとマイクで宣伝したら、あっという間に黒山の人だかり。2回ほど時間を決めてイベントを行いました。どちらも好評でした。



また、2日間ずっと売り場でくすぶっていた「ミニアルバムやさん」は、3日目の朝にイベントを行うと、一気にどカーンと売れました。

前日の夜、アンコール分科会のお手伝いをしていたときに、たまたま、のぞいたナイターで「ミニアルバムづくり」をしていました。このお店、売り場への申し込みのときから「は

じめてお店を出すのでドキドキしています」と書かれていたのを思いだし、「売れてますか〜」と話しかけてみると、「それがまったく…」と泣きそうだったので、どんな売り物なのか、まずは僕が体験させてもらいました。

すると、とっても画期的なものづくりで、値段も手ごろだし、絶対売れる！と思った僕は、朝イチの「イベント」を提案させていただきました。その場にいた数人のお客さんも、「初めて来たのに、手ぶらでは帰らせられないな〜」と仲間入り（笑）

次の日、8時頃から予定通りステージの上で「イベント」を始めると、朝食を食べ終わった人たちが群がってきて、一気にブームになり、用意していた商品が完売しました。応援していたサークルの人たちも、ナイターで合流したお客さんも大喜び。





杉山亮さんの売り場の感想に、「最近、仮説の研究会だけでなく、保育園などの団体もそうですが、売り場で興味心身に話しかけてくる人が減っている」ということが書いてありました。「売り場」で話しかける人が減っているご時世だけに、売り場のイベントは、売り上げのために必要な「しかけ」になるだろうと予想しました。

考えてみたら、僕の「道徳プラン集」も、売り場ではたいして売れません。でも、「道徳の講座」や「分科会」の後では、その会場でバカ売れます。売り場のイベントも、まさにこの法則。今回は、「売り場に人がいる」という「売り場を本部と一緒にしたシステム」と、「ステージという場で目立ったこと」で、集客力が抜群！になり、大成功でした。

また、今回は、「やりたい」と言ってきた人が勝手にやる感じで、他からのクレームはほとんどありませんでしたが、もしこれが定着したら、このイベントをする時間帯などの順番取りで、一仕事必要になると思います。

●売り場の仕事分担について

売り場に関しては、本当にみなさんに助けていただき、運営できたと思っています。初日から最終日まで、ずうっと張り付けてくださったのは、北村泰さんと柴崎雅仁さんです。北村さんは主にガリ本ダービーを、柴崎さんは主におたのしみ福引きをみていただきました（僕が決めたわけではなく、それぞれ考えて分担してくださいました）。

今回、売り場ではいろいろな実験をしましたが、これらを可能にするためには、「担当の誰かが、その場にいないといけない」という縛りができてしまい、それが難点といえば難点でした（シメタもありましたが）。

今までのガリ本ダービーは、気に入った本を一冊持って行っていい、というルールでしたが、そのルールを知らない人が、悪気なく持って行ってしまったりすることがあったそうです。そこで今回は「券と交換する」という方法を試してみました。これは、とてもう

まくいったと思います（券に交換した人の名前とメッセージをつけたのがよかったと思います）。



ただ、まだそのルールが徹底されていなかったもので、券を預かったり、2枚目を販売する人が必要でした。すると、北村さんと柴崎さんが、お店の店長・副店長のように、ずっと切り盛りしてくださいました。本当に感謝です。レイアウトや案内表示など、いろいろと考えて主体的にやってくださいました。

●ガリ本ダービーの結果から見えるもの

エントリーされた16冊中、2016年7月発行の新刊は8冊でした。16冊中、 \sphericalangle 切に間に合ってエントリーされたのは、9番目までの9冊でした（当日の飛び入りも1冊ありました）。

交換した枚数（黄）	259枚	（交換率・約76% 84枚が未交換）
購入した枚数（緑）	73枚	
合計（黄+緑）	332枚	



ガリ本は、各お店に置いてあるよりも、「そこに行けば見つかる」という場があることによって、購買者の目にとまり、売り上げが上がるのがわかりました。また、券に名前を記入したり、ひとこと書いてもらうことにより、ガリ本を書

いている人がどう評価されたのかがわかる仕組みは素晴らしかったと思います。ガリ本ダービーに本を出された方から、以下のようなご意見をいただいています。



「売場にラウンジがある」「売場にくる仕掛けをする」というのも、とてもよかったです。売場に人が集まっていた、たくさんの人とお話できました。そのほか、大会運営の随所に工夫がされていて、とても過ごしやすかったです。

大会HPで、売場配置図や、分科会会場地図、受付済みの資料一覧が事前にあったのも、とてもありがたかったです。1日目はとかく情報過多で、右往左往してしまうのですが、事前にあると、わくわくするし、なによりも、迷わずに済みました。

ガリ本ダービーの「一言メッセージ」は、とても嬉しいものでした。私は、出て行った冊数は、多くはありませんでしたが、数よりメッセージが嬉しかったです。たくさんの新しい試みがあり、とてもたのしい大会でした。

自分の研究も、大会の締切効果で深まり、ずっと定まらなかった方向性が見えてきて、大変ありがたかったです。そして、全国の仲間に、質問したり、協力をお願いしたりと、「ここに集うからこそできる」ということができ、「合宿研究会っていいな」と思いました。お世話になりました。ありがとうございました。

●「お楽しみ福引き」について

前日までの「福引きの景品」へのご協力は、32店の参加で計55品でしたが、当日の申し込みが相次ぎ、結局その倍くらいの店舗が参加してくださいました（8割くらいの参加率でのご協力でした）。

福引きでは、一日目に景品を預かるという仕事（当日受け付けの人はお店の紹介を紙に書いてもらいました）、二日目の午前中に景品を種類分けして、あめ玉の色を決めました。午後は福引きをして、景品を選んでもらう仕事。それらは一手に、柴崎さんが引き受けて、対応してくださいました。

景品には、関本さんが科学の碑からたくさんのフェライト磁石を提供してくれました。

福引きの反省点は、はずれクジのアメの数が少なくて、先に福引きをした方が、どんどん当たりを出していく形になり、後から引きに来た





人たちに、景品が残っていないくて、クジを引くときのワクワク・ドキドキがなくなってしまう、ということでした。でも、先に来てくださった方々の評価はとてもよかったです。ご協力いただいたお店のみなさま、本当にありがとうございました！

●売り場での実験の問題点

これらの全てを補佐的に支えてくださっていたのが本間さんです。お二人がつきっきりにならないように、本間さんがちょくちょく店番を代わってくださいました。

本間さんには、ガリ本ダービーに出品してくれた方に交換券の原稿を渡してしまう前に、それをすべてコピーしておいてくれるなど、記録のお仕事でも支えてくださいました。

僕はというと、各お店からお願いされたことの対応に追われたり、売り場以外にも、「分科会設定」のお仕事をするようになったので、ほとんどみなさんに指示する余裕がありませんでしたが、みなさんが主体的に考えて対応してくださったので、本当に助かりました。

心配だったのは、交代のローテーションなどを組めなかったことで、もしかすると、その場を動けなくて困った方がいらっしやったかもしれません。本当にごめんなさい。(メーリングリストで当日の予定を連絡してくださったのが本間さんだけだったので、組めませんでした^^;)

●さらに反省点、そして「謝辞」

それから、ガリ本ダービーの終了時刻を決めておくべきだったと反省しました。最後の全体会の最中も、柴崎さんがお店にいてくださっていました。申し訳ありませんでした(でも、最後の最後、片付けるときまで交換している人がいました)。

これ以外にも、1日目の、売り場始まる前に「お店名とお店番号」が印刷された紙を、お店に並べるのを手伝ってくれたのは、川島さんです。

イベントを企画したり運営するのは僕が担当しました。マイクの用意を手伝ってくださったのは、川島さんです。川島さんにはこの他、クロネコの対応をどうするのかなど、心

配していただきました。おかげで河合さんと連絡が取れて、早めに指示を出すことができました。

売り場のアンケートを作ったのは僕ですが、それをそれぞれのお店に配ってくださったのは、柴崎さんです。ガリ本ダービーの出品者へのお金を用意してくれたのは、品川さんと都丸さんです。細かくしてくれていたの、封筒に入れるときに助かりました。

ガリ本ダービーのお金入れ、投票券の枚数数えなどの仕事は、北村さんと柴崎さんと僕でやりました。アンケートを回収し、金額を計算して、イタクラ係数を出してくださったのは西川さんです。西川さんには、最後の全体会で発表もしてもらいました。(淡々としていて、おもしろかったです。ウケてました・笑)

僕もずっと売り場にいたわけではないので、これ以外にも売り場に関わってくれた人がたくさんいたはず。売り場のお仕事に関わってくださったみなさま、本当にありがとうございました！

●売り場の様子を写真で紹介します！



売り場の一角にて。荒川さんの映写機

夜、ナイターをやっているころの売り場の様子です。



↓こちらはお昼時の売り場。上州御用達の「とりめし」。予想通り、評判がよかったです。



本部が売り場と併設

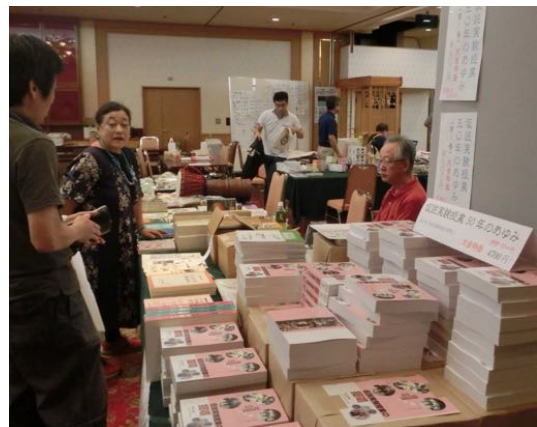


バックミュージックもあり♪





いつでも売り場に人がたくさんいて、活気があってよかったです！



みなさん、売り場へのご協力、ありがとうございました！
これからも、この売り場文化を大切にしていきたいと思います！